

**八代地域の伝統行事「八代妙見祭」のデザインで地域活性化に貢献  
「八代不知火蔵 こめ焼酎 白水 妙見祭ラベル」  
6月1日（火）九州エリア限定で新発売**

メルシャン株式会社（社長 長林道生）は、本格米焼酎「八代不知火蔵 こめ焼酎 白水」から、「八代不知火蔵 こめ焼酎 白水 妙見祭ラベル」（900ml）を6月1日（火）より九州エリア限定で新発売します。

「八代不知火蔵 こめ焼酎 白水」は、やさしい吟醸香と柔らかくまろやかな味わいが特長の本格米焼酎です。今回発売する、「八代不知火蔵 こめ焼酎 白水 妙見祭ラベル」は、メルシャン八代工場の拠点である熊本県八代地域への貢献と地域活性化を目的とし、八代地域の伝統行事「八代妙見祭」のデザインをパッケージに採用しました。

キリングループは世界のCSV<sup>※1</sup>先進企業を目指し、「酒類メーカーとしての責任」を前提に、「健康」「地域社会・コミュニティ」「環境」の社会課題の解決に重点的に取り組んでいます。当社は、令和2年7月豪雨や新型コロナウイルス感染拡大で地域経済や伝統行事に大きな影響を受けた熊本県八代市に対し、「八代不知火蔵 こめ焼酎 白水 妙見祭ラベル」を通じて「八代妙見祭」や熊本県八代市の魅力を発信することで、「地域社会・コミュニティ」の活性化に貢献していきます。

※1 Creating Shared Value の略。お客様や社会と共有できる価値の創造

●「八代不知火蔵 こめ焼酎 白水 妙見祭ラベル」パッケージデザインについて

2017年に行われた「八代妙見祭の神幸行事」のポスターのデザインを採用しています。「八代妙見祭の神幸行事」のポスターは、2018年「第8回日本の伝統まつりポスターコンクール」（主催：日本の伝統まつりポスターコンクール実行委員会）において大賞を受賞しました。

●八代妙見祭とは

「八代妙見祭」の神幸行事は、毎年11月22日（お下り）と11月23日（お上り）に開催されます。中世に八代を支配した相良氏の『八代日記』永正12年（1515年）の条に、行列を伴う祭礼としてその記述がみられる神事・祭礼です。九州南部を代表する大規模な祭礼行事でもあり、地元の方々に親しまれています。

2011年3月に国重要無形民俗文化財に指定、また2016年12月には全国32の祭りとともに「山・鉦・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録されています。

●「八代不知火蔵 白水」について

メルシャン八代工場は1939年にメルシャン（当時の昭和醸造）のアルコールの生産拠点として熊本県八代市で操業を開始し、1963年より本格焼酎を製造しています。特に焼酎については、地元を代表する酒蔵でありたいという願いを込めて製造場を「八代不知火蔵<sup>※2</sup>」と命名し、唯一無二の焼酎造りにこだわった商品を生み出しています。代表的な銘柄は柔らかくまろやかな味わいの「白水」シリーズです。

「仕込み水<sup>※3</sup>」に八代市を流れる球磨川伏流水を、「割り水」に熊本県阿蘇郡南阿蘇村の「名水百選 白川水源水」を使用した水にこだわり抜いた本格焼酎です。

※2 八代海は別名不知火海とも呼ばれ、陰暦七月末ごろの夜、無数に見える火影（曇気楼の一種）が浮かぶ海として有名ですが、その八代海が望める酒蔵という意味。

※3 焼酎の原料から蒸留までの工程で使用する「水」。



「八代不知火蔵」は、これからも豊かな自然に恵まれた熊本県八代の地から、皆さまの暮らしに生かす価値を発信し、地域の発展に貢献していきます。

記

- |                |                             |
|----------------|-----------------------------|
| 1. 商品名・アルコール度数 | 「八代不知火蔵 こめ焼酎 白水 妙見祭ラベル」・25% |
| 2. 容量・容器       | 900ml・びん                    |
| 3. 発売日・発売地域    | 2021年6月1日（火）・九州エリア限定        |
| 4. 規格          | 焼酎乙類                        |
| 5. 価格          | オープン価格                      |

以上

（お客様お問い合わせ先）

キリンホールディングス株式会社 メルシャンお客様相談室（フリーダイヤル）0120-676-757  
キリンホームページアドレス www.kirin.co.jp ※ホームページから商品画像を取得できます。